

応用柔道整復学3

科目ナンバー 7C320
専門分野 必修 1単位

二連木 巧

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、主に衛生学・公衆衛生学の内容を中心に復習します。
柔道整復師として、地域の医療に従事する上で基盤となる公衆衛生の理念、考え方、活動方法について学びます。
また、衛生学・公衆衛生学は国家試験の出題科目にもなるので、国家試験の過去問題を使用しながら授業を実施していきます。
理解度を確認するために、授業内で確認テストを実施します。問題の解説や授業中の質問に対してのグループディスカッションか行いながら授業を進めていきます。
この授業では、DP1,DP2に関する知識を習得します。

2. 授業の到達目標

公衆衛生の基本理念や、活動内容を理解する。
健康問題やその関連要因について理解する。
衛生学・公衆衛生学の国家試験問題への対応力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(100%)
60%以上で単位を認定します。
2/3以上の出席がない学生は期末試験の受験資格が与えられません。
定期試験実施後、テストの解説を行います。
小テストは授業毎に解説を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書
衛生学・公衆衛生学改訂第6版 南江堂

5. 準備学修の内容

既に学習している範囲になりますので、予習を行い講義に臨んでください。
復習は講義中に前回講義について的小テストを実施しますので、必ず次の講義までに講義内容の確認を行ってください。

6. その他履修上の注意事項

シラバスの計画に沿って講義を実施しますが、状況により調整しながら実施します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(過去国家試験の出題傾向・学習方法)
- 【第2回】 確認テストと要点の解説
・衛生学、公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動
・健康の概念
- 【第3回】 確認テストと要点の解説
・疾病予防と健康管理
- 【第4回】 確認テストと要点の解説
・感染症の予防
- 【第5回】 確認テストと要点の解説
・消毒
- 【第6回】 確認テストと要点の解説
・環境衛生(環境保護)
- 【第7回】 確認テストと要点の解説
・生活環境、食品衛生活動
- 【第8回】 確認テストと要点の解説
・母子健康
・学校保健
- 【第9回】 確認テストと要点の解説
・産業保健
- 【第10回】 確認テストと要点の解説
・成人、高齢者保健
・精神保健
- 【第11回】 確認テストと要点の解説
・地域保健と国際保健
- 【第12回】 確認テストと要点の解説
・衛生行政と保健医療の制度
- 【第13回】 確認テストと要点の解説
・医療の倫理と安全の確保
- 【第14回】 確認テストと要点の解説
・疫学
- 【第15回】 期末試験とまとめ(試験のフィードバック)
試験と、試験のフィードバック、これまでのまとめについて講義を実施します。